

新発売

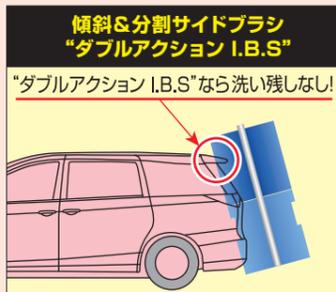
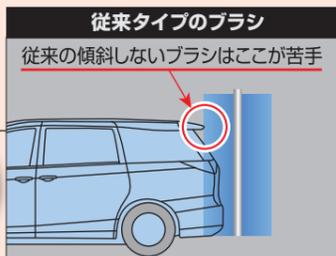
高機能モデル“アペルト”がさらに進化! オプション機能が充実し、より高品質な洗浄を実現 アペルト

AP6200

- 新傾斜&分割サイドブラシ“ダブルアクションI.B.S”(オプション)がリヤスポイラーの下側まで確実に洗浄。さらに、左右のブラシで分割の高さを変えることにより、ミニバンからステーションワゴンまで車の高さに合わせて使い分けが可能です
- 静音システム“クリスタリン”内蔵(オプション)



洗車スピード
最速 **85** 秒/台
※1往復シャンプー洗車時



新発売

複雑な車形を測定するワイドセンサーを搭載した プレミアム仕様の“ジスペクト”が誕生! ジスペクトII

GS400J

- 電流検知制御とワイドセンサーの2段階測定により、ブラシの接触圧を一定に保ち均一な洗浄を実現
- 垂直トップブラシや新制御プログラムを搭載し、優れた洗浄性
- 新トップノズル動作であらゆる車形に追従し、乾燥力が向上



洗車スピード
最速 **85** 秒/台
※1往復シャンプー洗車時

近日発売

充実の機能で作業効率アップ! 高性能ホイールバランサーがモデルチェンジ リブラック348/348P

LIBRAK348/348P

- イラストによる対話式アイコンで簡単操作! 測定アームをウエイト貼付位置に当てただけでディスタンス、リム径を素早く自動測定
- ウエイト貼付位置が、12時方向に加え6時方向にも指定可能
- ホイールガードが新機構に! 衝撃・振動が軽減され、測定精度をさらに向上
- ペダル操作でカンタン自動クランプ。エアロック式パワークランプ搭載(348P)



※写真はリブラック348P



保守点検のおすすめ

ANZEN製品を長くご利用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。お近くの営業マンまでお問い合わせください。

ANZENカスタマーサービス

0120-01-6361 当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記までお気軽にどうぞ。受付時間: 月~金 (AM9:00~PM5:00)

ANZENホームページ

http://www.anzen.co.jp ホームページ“ANZEN Web”ではANZENの最新情報を提供しています。

●発行所/安全自動車株式会社 マーケティング部 東京都港区芝浦4-16-25 ●ANZEN NEWS 69号 (2015年10月28日発行)

※外観・仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

2015



自動車整備の最新がわかる
ANZEN NEWS



CHARGE

『点検不履行』によるリフト事故が増加しています

4年連続増加中!!
リフト事故防止啓発ビデオはこちらからご覧いただけます



一般社団法人日本自動車機械工具協会(以下、機工協)の集計によると、2014年に発生したリフト事故は28件。前年より3件増加するなど、4年連続で増加しています。事故発生推定原因の調査では『点検不履行』が15件、『取扱不良』が13件と、2010年以降初めて『点検不履行』が上回りました。事故発生件数28件のうち27件は保守点検を行っておらず、日常点検も実施していなかったことが事故につながったケースが多いようです。機工協ではリフト事故ゼロに向けて、リフト点検のプロフェッショナルを輩出する「リフト点検資格者制度」の制定や「リフト事故防止啓発ビデオ」作成など、事故防止の啓発活動に力を入れています。



リフトも定期的な健康診断を!

リフト事故を防止するためには、異常を感じなくても定期的に点検を行い、潜在的な不調の元を解消してトラブルを未然に防ぐことが大切です。整備機器は「壊れていても使ってしまう」ケースが少なくなく、外観を見るだけでは正常な状態なのか、判別ができません。そのため、お客様による日常点検だけではなくプロ(リフト点検資格者)による分解点検などの保守点検が重要です。



こうなる前に!

リフト事故が起こると...

人身・物損事故

経済的な負担

企業の信用・補償問題

整備作業のストップ

等、さまざまなリスクを伴います。リフトが使用できないことで、工場・会社全体に大きな支障をきたします。

リフトを“正しく”使い“確かな”点検を行い、事故を未然に防ぎましょう!

定期メンテナンスの目的と実施効果

リスク回避

リフト作業時に起こり得る潜在的なリスクをできるだけ取り除くことで、事故を発生させない安全な作業環境づくりに貢献します。

精度・能力維持

経年劣化による損傷など機器の状態を把握し、小さな不具合のもとを確実に解消することでリフトを最良の状態に保ちます。

コスト削減

突発的な事故を防ぎ修理費や消耗品の交換時期などを把握することで、計画的かつ合理的な対策が行えます。

ANZENのメンテナンスメニュー

ANZENでは、整備機器を“長く”“安全に”“安心して”お使いいただくためのメンテナンスメニューをご用意しております。また、専門知識を持った「リフト点検資格者」がプロの目でしっかり診断いたします。まずは機器の状態をチェックしてみませんか? 充実のサービス体制で、お客様の安全、快適な作業環境づくりをサポートいたします。

予防整備

トラブルが発生する前に消耗品や部品を定期的に交換します

保守点検

日常点検ではチェックできない細部まで点検・調整を行います

年に一度はプロによるリフト点検を行いましょう! お気軽にご相談ください。



千葉日野自動車株式会社 千葉支店 長沼営業所

千葉県千葉市稲毛区長沼原町52-1
Tel. 043-259-2121

いま注目!
のショップ訪問

■オープン日：2015年9月1日(火) リニューアル

■従業員数：29名(メカニック15名)

■店舗概要：約290名の従業員が働く千葉日野自動車株式会社は5支店、3営業所、中古車部門とBPセンターで構成されています。今回訪問した長沼営業所は旧工場より敷地を3割増床させ、9月1日にリニューアルオープンしました。同店は日野販社で初の中・小型車専用工場となっており、今までにないアイデアで小型車のアフターフォローを強化することを目的としています。今回は環境に優しい設備と最新鋭機器を揃え、信頼される店舗づくりの背景について伺いました。



整備部 部長 兼
業務経理課 課長 兼
お役立ち活動推進室
大地 励 様



工場長
遠藤 保男 様



効率化と生産性向上に貢献する、日野販社初の中・小型車専用工場

■新たなスタートでアフターフォローを強化

同店を中・小型車専用工場にリニューアルした理由は、将来的に中・小型車の需要が増えるのではないかと先を見据えた販売政策の一環でした。「小型車は売ったら売らばなしという状態が多かったため、アフターフォローを強化する必要性を感じていた」と、大地部長。長沼営業所は大型車のメンテナンスを行っている千葉支店と習志野支店の中間に位置するため、各支店へのアクセスが良く、連携のとりやすい距離にあります。大型車を保有するお客様が今後、千葉支店や習志野支店に入庫していただくことになってこそこれまで大きな負担にはならないだろうと判断し、同店をリニューアルしました。大型車を保有するお客様には入庫時に変更案内書を同封し、中・小型車を保有するお客様にはチラシを配布するなど、入庫誘引のための事前準備は欠かしていませんでした。中・小型車専用工場を作ることによって、スピーディーで質の高い整備を提供することを可能としています。



2台同時整備が可能な4柱式“ツインパワーリフト”で1ストールを有効活用



“フロアリフト”は自分に合った高さで作業が可能

■こだわりのリフトで安全・効率・作業性の向上

リニューアルした新工場は利便性、効率化、労働負担の軽減などに寄与した最新鋭の設備機器を導入しました。また、今年度より女性メカニックを採用したことで、省力化機器だけではなく女性専用の更衣室やシャワールームを設置。従業員のES向上にもこだわったレイアウトとなっています。リフトは中・小型車用の2柱式“ツインパワーリフト”に加えて、4柱式も導入。4柱式“ツインパワーリフト”はタンデム仕様で、2台同時のメンテナンスが可能となります。また、正面と背面に出入り口が配置されているため、整備が完了した車両はスムーズに出庫でき、回転率を向上させています。2基導入された“フロアリフト”はクイック整備や足回り整備をする際に使用。「オイルやブレーキライニングの交換など、立ち姿勢で作業ができるように

なったことは非常に大きな利点です。労働負担の軽減に繋がり、メカニックも喜んでいきます」と、遠藤工場長。“フロアリフト”は転落防止ネットを設置することで安全面にも考慮しています。また、入り口を広く取りミッションやエンジンなど重量物を天井クレーンで持ち上げて、そのまま部品整備作業場への移動が可能な仕組みにするなど、安全と効率化、労働負担の軽減に努めた工場を構築しています。



重いミッションやエンジンは広々とした入り口に置き、天井クレーンで運び出します



“フロアリフト”の転落防止ネットは初導入！スライド仕様で安全対策にも注力

■ホイールの脱着は立ち姿勢のまま！時間短縮に貢献

重整備の省力化アイテムとしては立ち姿勢のまま、安全、スピーディーにホイールを脱着できる“タッテラー”を採用。重量のあるタイヤを立ち姿勢のまま脱着できることは、女性メカニックにとっての負担軽減だけではなく、男性メカニックも身体に負担をかけずに作業が可能となります。また、リフトの上下で無駄な時間を使わずに済むなど様々な点で活躍しています。今後も女性メカニックの採用には力を入れるため、積極的に省力化機器を取り入れていくとのことです。「中・小型車専用工場は日野販社では初めての試みです。入庫台数を増やすためにも他社銘柄の車両も整備していきます。今後も実際に機器を使用するメカニックの声は大事にしていきたい」と、大地部長。今秋には車検整備の一連の流れをビデオ撮影し、段取りや機器の使い方、整備チェックなどを検証し、さらに技術力を高める方針です。中・小型車に着目した工場づくりで全国の販社からも注目度が高い長沼営業所。最先端の設備と高い技術力のお客様に安心と信頼をいただけるサービスを提供していくでしょう。



リフトを上下することなく、立ち姿勢のまま“タッテラー”でホイールの脱着が可能

東海マツダ販売株式会社 碓目寺店

愛知県あま市坂牧大塚84
Tel. 052-462-6531

知りたい!
元気の工場の秘密

■オープン日：2015年6月6日(土) 新設

■従業員数：9名(メカニック4名)

■店舗概要：東海マツダでは15年ぶりとなる新設店舗の碓目寺店。名鉄津島線の碓目寺駅から約2kmに位置し、周辺は1家2台以上車両を所有する家庭が多い地域です。そのため、近隣のお客様も多くいらっしゃるということです。これまで白を基調としたショールームを一新し、マツダの新コンセプトである黒をベースとした高級感あふれる佇まいに圧倒されることでしょう。今回はオープンから4ヶ月経過した現状と目指す将来像について伺いました。



店長
豊田 伸太 様



サービスマネージャー
伊藤 伸 様



高級感あふれる店舗で新規顧客の拡大と満足なサービスをご提供

■オープン初日から大盛況！集客と販売拡大に期待

東海マツダ販売株式会社は愛知、三重、岐阜3県におけるマツダのメインディーラーであり、総社員は1,431名(2015年3月末現在)。東海地区の自動車ディーラーの中でもトップクラスの企業です。注目のクリーンディーゼル車に興味を持って来店されるお客様が多く、オープン当初より盛況を極めています。黒ベースのデザインが重厚さを醸し出しており、輸入車を所有するお客様の来店客数拡大に繋がっています。「新規顧客の獲得に期待できる一方、軽自動車や商用車を所有するお客様にも気軽に来店していただけるようなイベントやキャンペーンなどを積極的に行っていきたい」と、豊田店長。オープン前には2,500通ものダイレクトメールを出すなど誘致活動を積極的にいき、オープン当初から店内は満席状態。営業対応に追われるほど大盛況となった同店は、安心のサービスを提供する充実したメニューの案内も集客に貢献したのではないかとのことです。



モノトーンの配色にウッド調のアクセントで居心地の良い空間を実現

■最新鋭設備の導入と3機種のリフトの使い分けで時間短縮に貢献

新工場は検査ラインと整備ストールが3ストール、屋外に洗車場を設けており、現在は指定工場の申請中です。検査ラインには「ハイブリッドテスター」を採用。メカニックからは「整備がラクになった」という声をいただきました。「画像処理方式手動ヘッドライトテスター」はほとんどのメカニックが今まで画像処理を使用したことがない中、検査結果が画像として表示されることにより時間短縮に繋がった」とのことです。「指定工場を取得したら、さらなる利便性を感じるのではないのでしょうか」と、伊藤サービスマネージャーは期待を込めた想いを述べてくださいました。リフトは“マルチリフト”“アルネオリフト”“ラムダリフト”と3機種の特長を活かしてそれぞれを使い分けています。アタッチメントを使用せず乗り入れるだけで即整備に入ることができるドライブオンタイプの“マルチリフト”はオイル交換などのクイック整備に使用し、“アルネオリフト”“ラム

ダリフト”は点検や車検整備として使用しているとのこと。タイヤチェンジャーはシンプルでありながら充実の機能を搭載する“クラシック24プラスAX”を採用。冬タイヤに変えるお客様も多いため、ホイールバルancer “リブラック234H”と併せて活躍が見込めます。



“画像処理ヘッドライトテスター”でスピーディーな測定を実現



リフトは整備内容によって使い分け、作業性と安全性を両立します

■お客様だけではなく近隣住民への徹底した配慮

店舗設立の際に注力したのが効率化と近隣への配慮の両立です。週末、祝日は入庫数も多いため、手洗いで大きなタイムロスとなってしまいます。そこで、効率化と省力化のために門型洗車機“ジズペクト”を導入しました。住宅が近いため、近隣住民への騒音対策にも注力しており、本体には静音システム“クリスタルイン”を内蔵させ、防音壁を3面併設しました。「大幅な騒音低減を実施し、どれくらいの音量になるのか何度も検証しました」と、伊藤サービスマネージャー。最後に碓目寺店の目標を豊田店長に伺いました。「入庫目標は月間200台です。既存客はもちろん、新規顧客へのアプローチも欠かさず車検や点検などのサービスを強化していきま



門型洗車機“ジズペクト”は3面に防音壁を採用することで騒音対策を強化

す。お客様にはトータルで満足してもらう接客を従業員全員で心がけています」と、豊田店長。力強い言葉から今後のさらなる高品質サービスの提供に期待がかかります。